

現代日本論基礎講読「研究法入門」(東北大学文学部 2012 年度 4 セメスタ)

## 第5講 情報の整理とアイデアの創出 (11/20)

作成：田中重人 (准教授)

[テーマ] 自分のレポートについてマインドマップ作成

### 1 情報の蓄積と整理の方法

- 本を読む習慣をつけること
- 文献を読むときのメモ 下線を引く、付箋を貼る、目次にメモ、コピーや写真を撮るなど
- 情報の整理 ノートやカードの蓄積、デジタル技術の活用
- 書誌情報と現物の保管 文献整理ソフトの利用、本棚やコピー収納場所の確保
- 文献探索の方法 日本語教育学のページ <http://www.sal.tohoku.ac.jp/nik/student/litsurv.html> や図書館の冊子 <http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/> を参照

### 2 マインドマップ

「ミニマインドマップ」(別紙参照)をまず書いてみる。何枚か書いてみて、それを集積して「フルマインドマップ」を書く。

- アイデアの洗い出し
- 情報の整理
- 足りない情報や課題の整理 今後の情報収集

大きな紙と色ペンを用意するとよい(月刊ビジネスアスキー編集部, 2010)。

### 3 類似の手法

- マインドマップと同様のことは、PC上でもできる
- カードの利用
- 問いと答えのリスト
- 文章の構成をメモにする

### 4 宿題

自分がレポートで取り上げる内容について、現段階でのマインドマップを完成させる。次回の授業時に持ってくる。

### 5 文献

- 月刊ビジネスアスキー編集部 (2010) 『本当に頭がよくなるマインドマップ “かき方” 超入門』アスキー・メディアワークス。
- 日経BP社 (2010) 『実践ノート&書類術』(日経ビジネス Associe スキルアップシリーズ) 日経BP社。